

平成22年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【フラット35利用者編】（第2回）

調査の概要

1. 調査方法

インターネット調査

インターネット調査会社のモニター120万件に対して調査対象の要件確認を行い、これに応じた659千件のうち平成22年7月から平成22年10月の間に民間住宅ローンを借入された方1,431件に、インターネットによるアンケート調査(10/14~10/31)を実施し、各月毎に先着順に回答があった民間住宅ローン利用者1,045件を調査対象とし、そのうちフラット35利用者169件について集計を行った。

2. 調査対象

民間住宅ローン利用者 (n=1045)

うちフラット35利用者 n= 169

うちフラット35以外 n= 876

- ・平成22年7月から平成22年10月までに民間住宅ローンを借り入れされた方
- ・居住用の新規の民間住宅ローン(除く:借換え、リフォーム、土地のみの融資、アパートや投資用のローン)
- ・全国の20歳以上60歳未満までの方(除く:学生、無職)

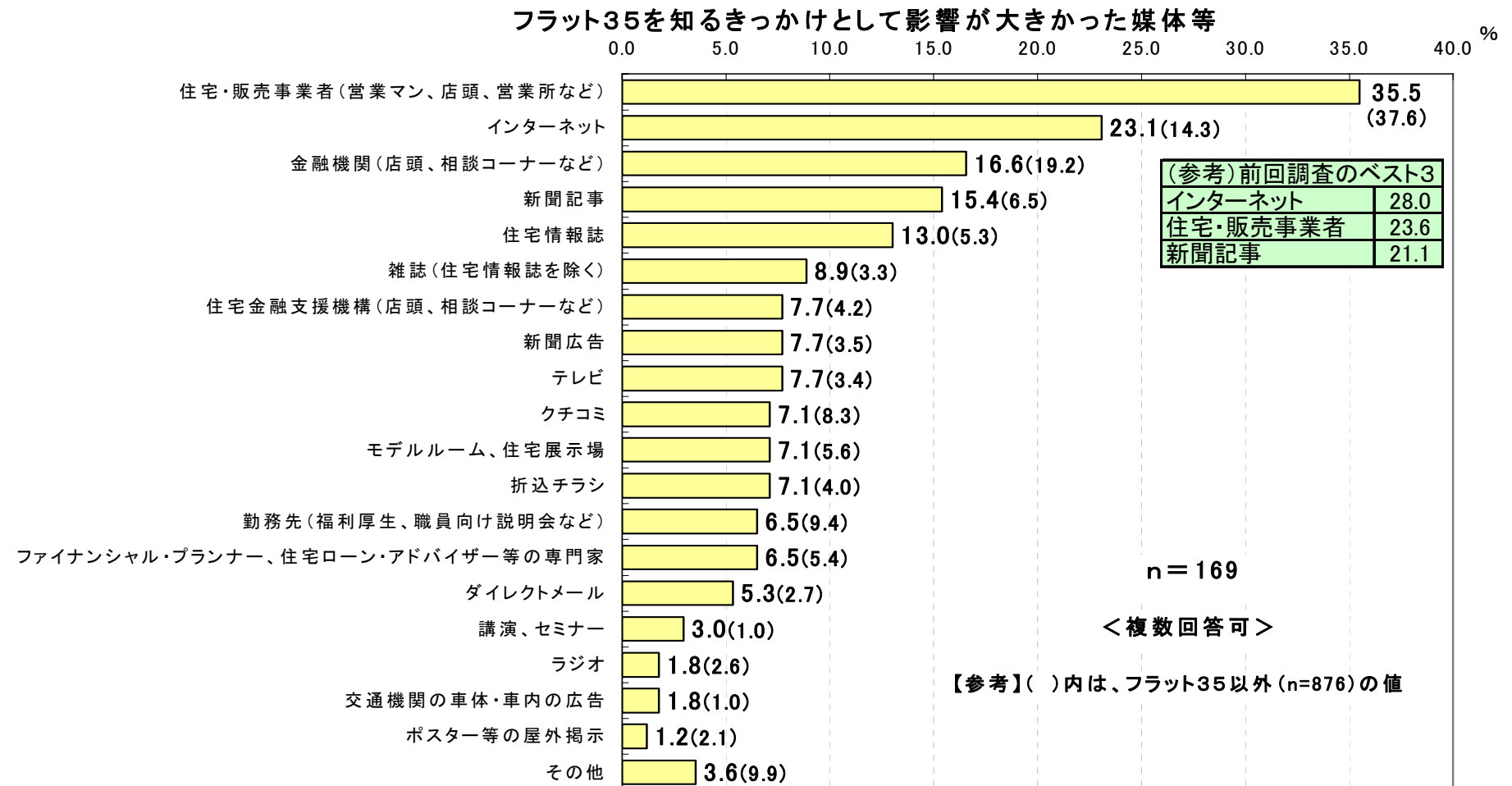
3. 調査時期 平成22年10月14日~10月31日

4. 調査項目 フラット35利用者の住宅ローン選びに関する事項等

平成22年12月10日
独立行政法人 住宅金融支援機構 住宅総合調査室

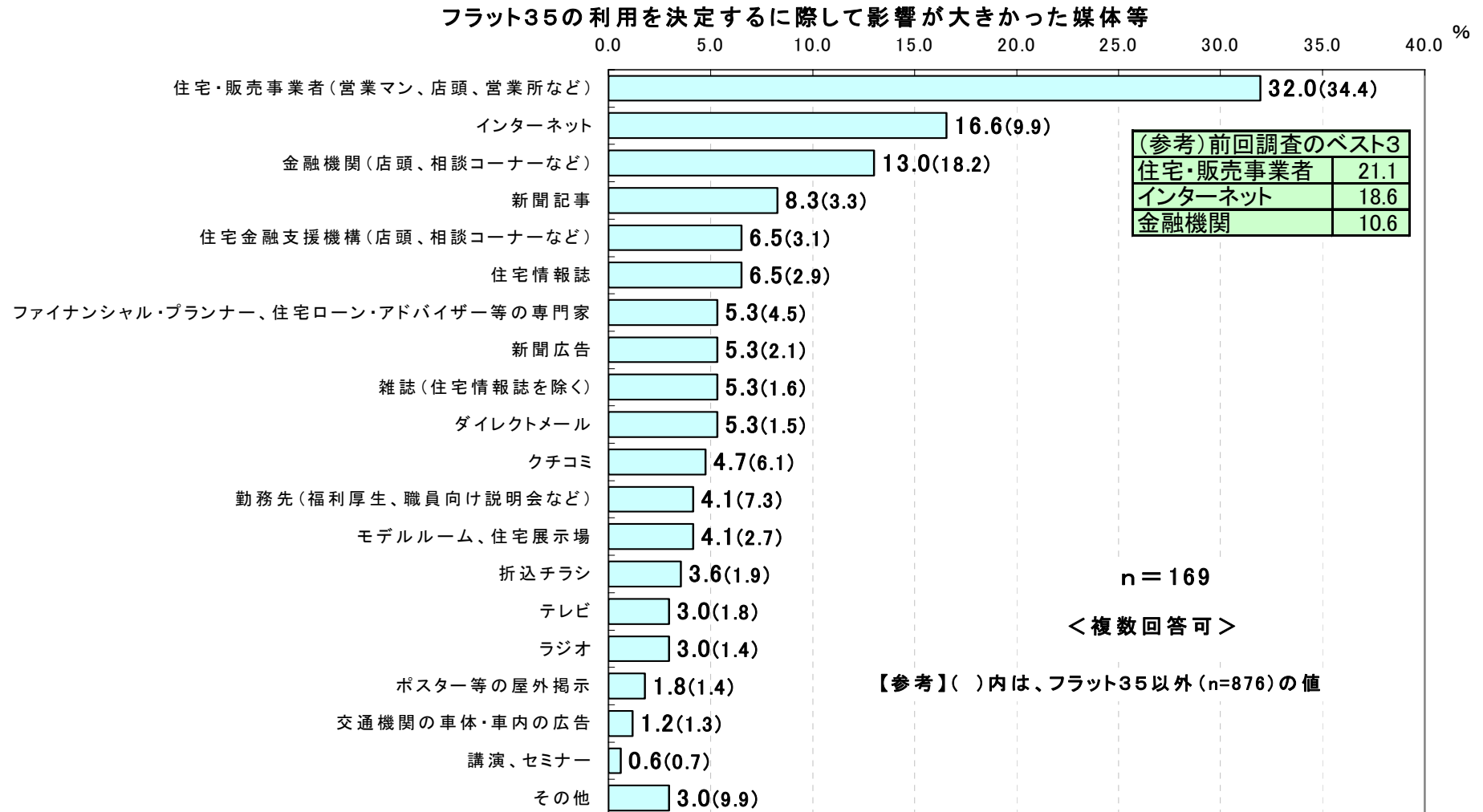
1. フラット35を知るきっかけとして影響が大きかった媒体等

フラット35を知るきっかけは、「住宅・販売事業者」が前回調査の23.6%から35.5%と増加し最も影響が大きい。「インターネット」は23.1%と前回調査の1位(28.0%)から2位に後退。フラット35以外の住宅ローンを利用された方との比較では「インターネット」に加え「新聞記事」「住宅情報誌」「雑誌」「テレビ」等のメディアの影響が引き続き大きい。



2. フラット35の利用を決定するに際して影響が大きかった媒体等

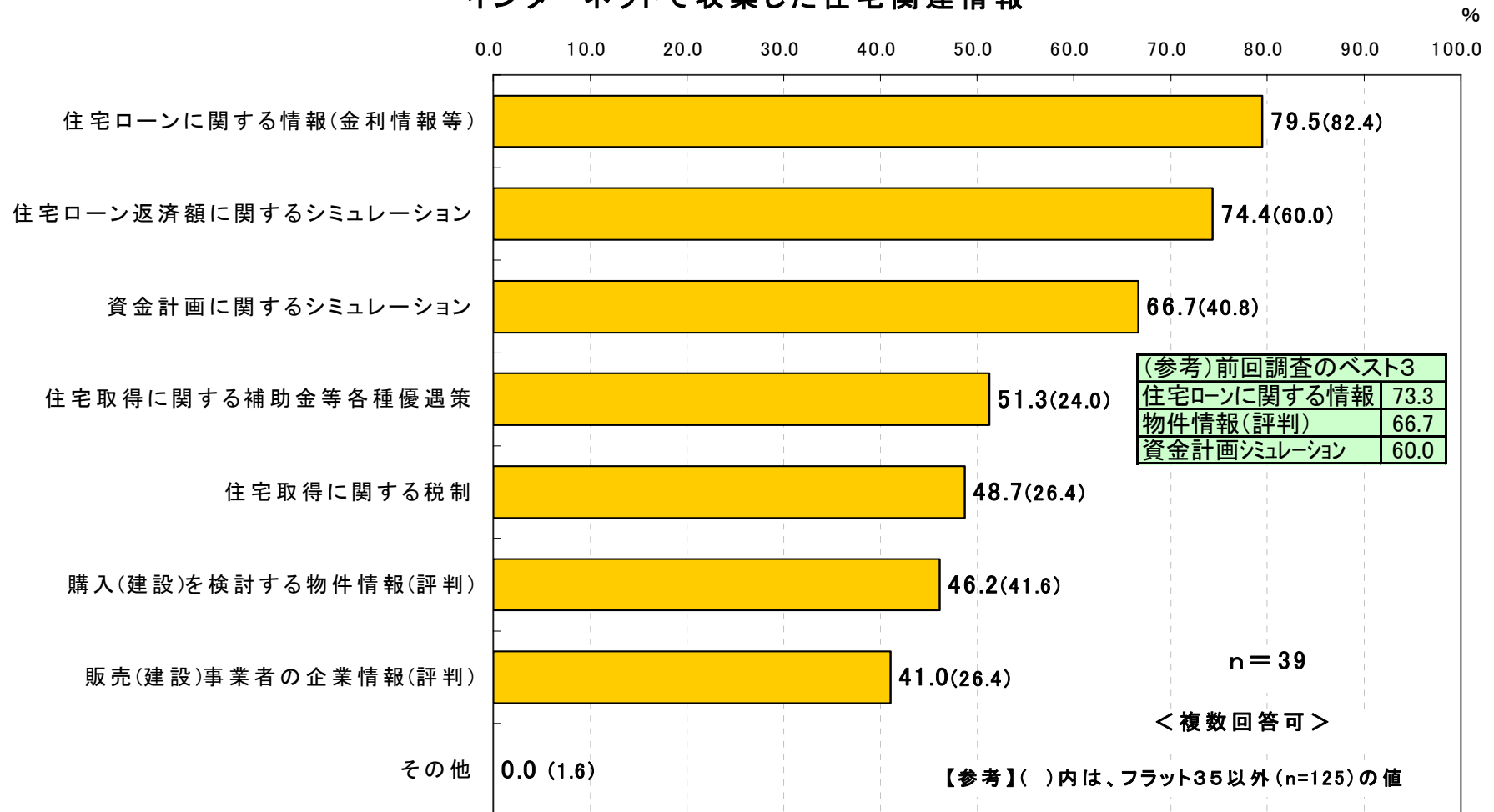
フラット35の利用を決定するに際しても、「住宅・販売事業者」が前回調査の21.1%から32.0%と増加し最も影響が大きい。次いで、「インターネット」が16.6%と前回調査の18.6%からは減少。フラット35以外の住宅ローンを利用された方の回答との比較では、「インターネット」に加えて「新聞記事」「住宅情報誌」等のメディアの影響が大きい。



3. インターネットで収集した住宅関連情報

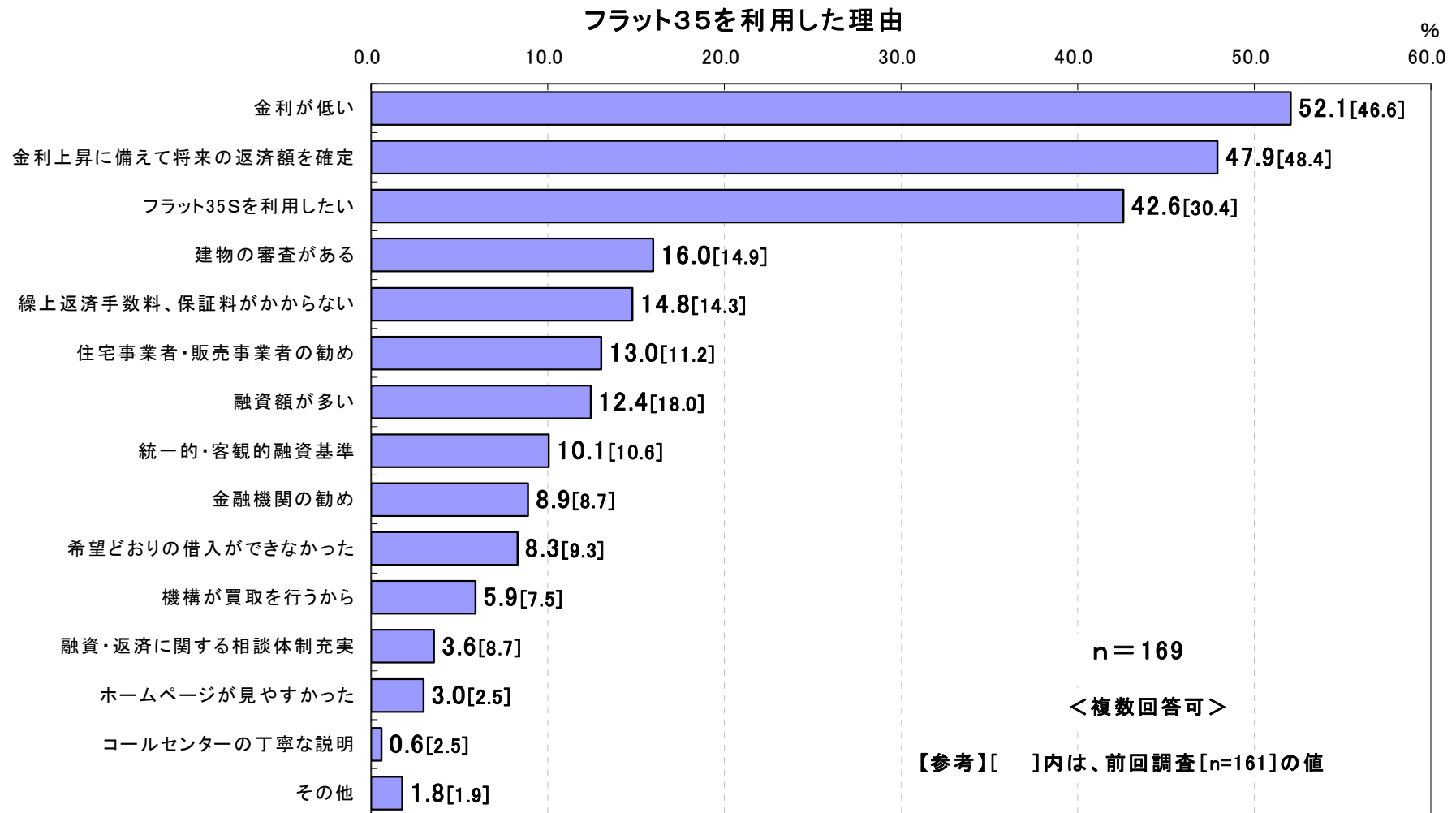
住宅ローンを知るきっかけが「インターネット」だった方に、インターネットで収集した情報を尋ねたところ、ベスト3は「住宅ローンに関する情報」「住宅ローン返済額シミュレーション」「資金計画シミュレーション」。フラット35を利用された方は、フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比べ「資金計画」「優遇策」「税制」と幅広く情報を集めている。

インターネットで収集した住宅関連情報



4. フラット35を利用した理由

フラット35を利用した理由は、「金利が低い」が前回調査の46.6%から52.1%と増加し最も多い。次いで「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」が47.9%、「フラット35Sを利用したい」が前回調査の30.4%から42.6%と増加し上位3位を占める。国の経済対策に基づく、フラット35Sの金利引下げ幅拡大(▲0.3%→▲1.0%)の効果が浸透している。

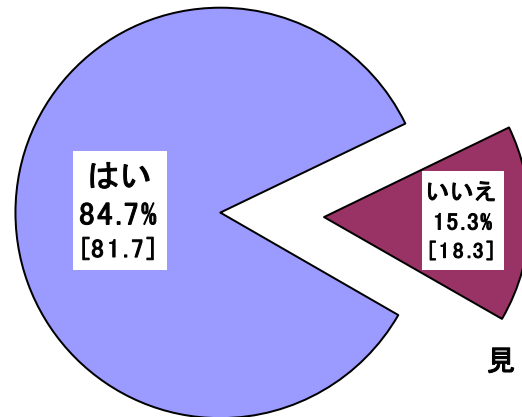


5. フラット35の認知状況（民間住宅ローン利用者全体）

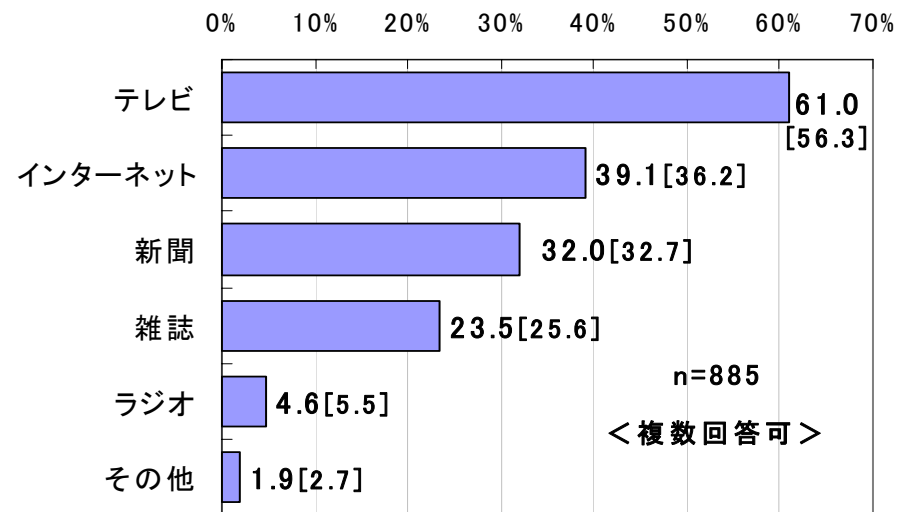
フラット35の広告や情報を見聞きしたことがある方は、全体の84.7%と前回調査(81.7%)よりも増加。
見聞きした広告や情報の媒体は、「テレビ」が61.0%と最も多く、次いで「インターネット」39.1%、「新聞」32.0%、「雑誌」23.5%と続いている。

フラット35の広告や情報を見聞きされたことがありますか (n=885)

【参考】[]内は、前回調査[n=1205]の値



見聞きされたフラット35の広告や情報の媒体は何ですか。

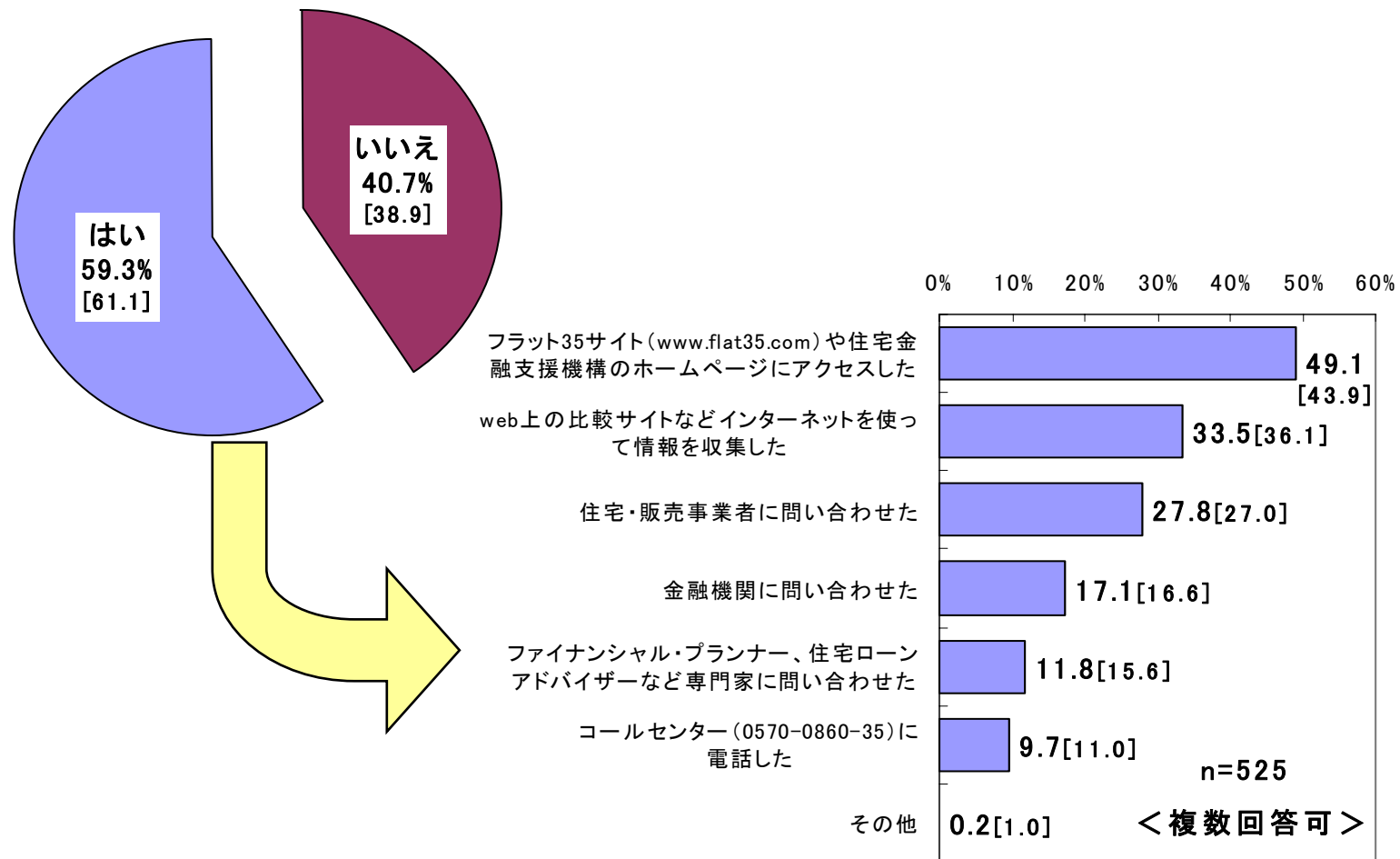


【参考】[]内は、前回調査[n=984]の値

6. フラット35の広告認知後の行動（広告を見聞きされた方）

フラット35の広告を見聞きされた後、さらに詳しい情報を得ようと行動された方は59.3%（前回調査61.1%）。さらに詳しい情報を得ようとした場合で多いのは、「フラット35サイトや機構のホームページへのアクセス」が49.1%、次いで「インターネットの比較サイトなどでの情報収集」が33.5%となっている。

フラット35の広告を見聞きされた後、さらに詳しい情報を得ようと思いましたが(n=885) 【参考】[]内は、前回調査[n=984]の値

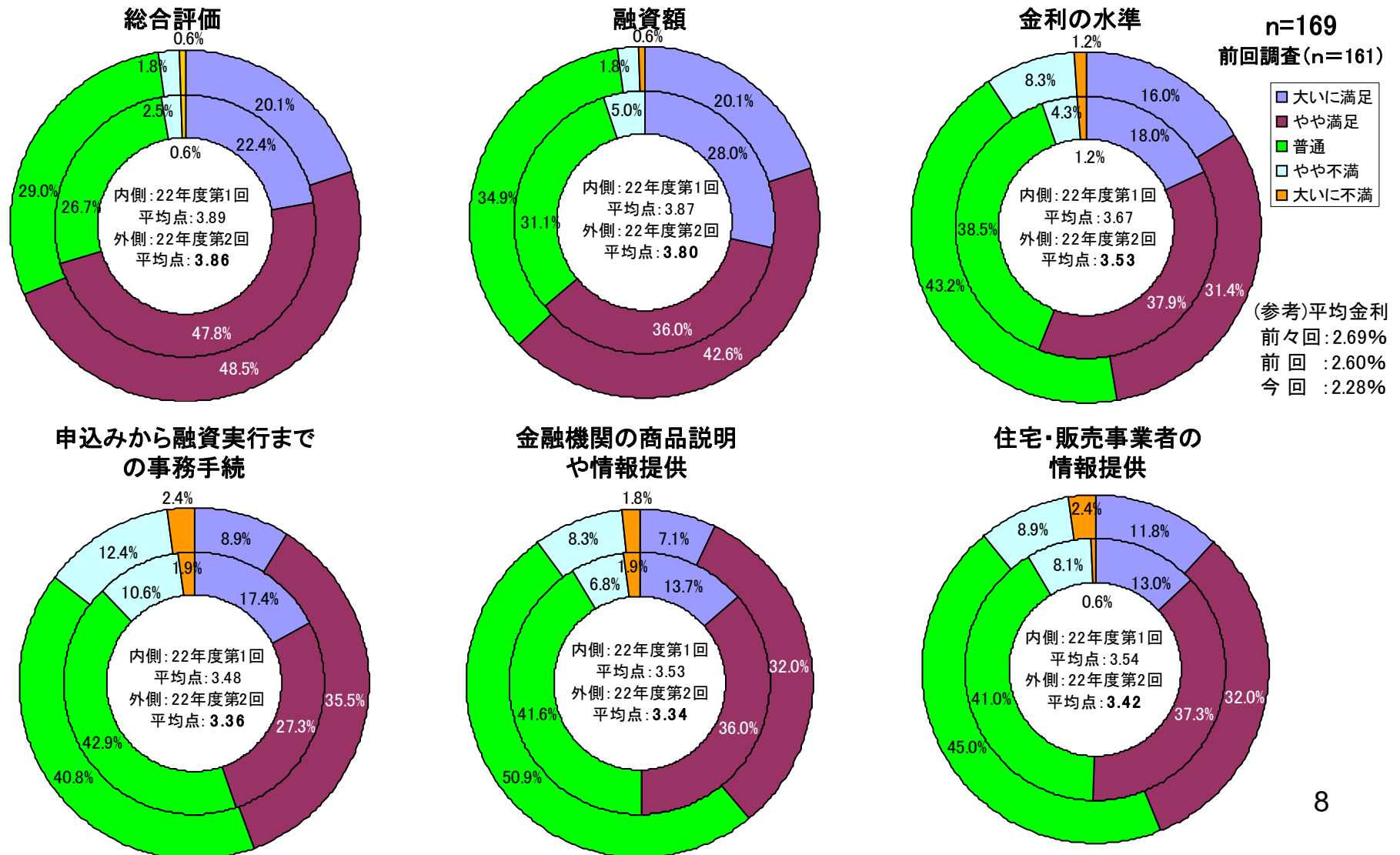


【参考】[]内は、前回調査[n=601]の値

7. フラット35に対する満足度

フラット35に対する総合評価は、「大いに満足」+「やや満足」が68.6%、平均点では3.86と前回(22年6月)調査の3.89より満足度はやや低下した。

※図中の「平均点」は、5段階評価について「大いに満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「大いに不満」1点として算出した得点



【参考】回答者の基本属性

【フラット35利用者】 n=169

項目		サンプル数	構成比(%)
年齢	20歳代	30	17.8
	30歳代	90	53.3
	40歳代	36	21.3
	50歳代	13	7.7
世帯年収	400万円以下	19	11.2
	400万円超～600万円以下	56	33.1
	600万円超～800万円以下	47	27.8
	800万円超～1000万円以下	33	19.5
	1000万円超～1500万円以下	12	7.1
	1500万円超	2	1.2
地域	首都圏	62	36.7
	東海圏	24	14.2
	近畿圏	31	18.3
	その他	52	30.8
住宅の種類	注文新築	93	55.0
	(うち敷地同時取得)	36	38.7
	注文建替え	8	4.7
	新築建売	15	8.9
	新築マンション	34	20.1
	中古戸建	7	4.1
返済負担率	10%以下	27	16.0
	10%超～15%以下	46	27.2
	15%超～20%以下	45	26.6
	20%超～25%以下	28	16.6
	25%超～30%以下	16	9.5
	30%超～35%以下	7	4.1
	35%超～40%以下	0	0.0
	40%超	0	0.0

注：首都圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 東海圏：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿圏：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 その他：首都圏、東海圏、近畿圏以外